

校長室だより No.3 5月13日(月)

君たちなら大丈夫(新入生研修の感想文から)

入学してまもなく、本校では新入生対象の研修を2日間にわたって行っています。その感想文のまとめを見せてもらいました。初々しい感想や決意がたくさん書かれていて、こちらまで「さあ、一緒に頑張るぞ!」という気持ちにさせてもらいました。その中からいくつかを紹介します。

○「まず、2日間私たちのためのご指導ありがとうございました」

——ある生徒の感想の冒頭に書かれた感謝の言葉。大人でもなかなかその研修が「自分たちのために」設けられていることを自覚し、感謝の気持ちを持つことができる人は少ないのではないのでしょうか。それも美辞麗句ではなく、心から出てきたものであることがその後の文章からも伝わってきました。そんな君を心から応援したいと思いました。

○「高校生になって、もっと堂々としていきたいです。今までは他の迷惑にならないかばかり考えていましたが、もう周りの目を気にしてちぢこまるのは嫌なので、自分をもっと主張して積極的に動きたいです」

——高校入学は自分を変えるチャンスでもあります。今の気持ちを大切にして、一日一日「自分らしく」生き生きとした高校生活を送ってください。

○「私は勉強は苦手ですが、「良い習慣は才能を超える」という話があったように、毎日積み重ねれば自分も変われると思うので頑張っていきたい」

——この言葉が心に残った生徒は大勢いたようで、何人もの生徒がこの言葉について書いていました。「継続は力なり」という言葉もあります。この学校で各々が自分なりの「良い習慣」を身につけてくれることを期待しています。

○「今の私は“何か”を描いてと言われても“何か”がわからずただペンを握ることしかできません。なので、この学校でたくさんのことを学び、ただペンを握っているのではなく、手を動かして“何か”を描けるように成長していきたいと思いました」

——始業式で2・3年生に紹介した『てん』(校長室だより No.1)という絵本を1年生にも読んで紹介しました。高校生なりに様々な受け取り方をしてくれたようです。

入学してすぐの2日間の研修はかなりハードだったのではないかと思います。どの生徒もびっしりと感想を書いていました。それも「こんなことを適当に書いておけばいいだろう」というものはほとんどなく、どれも真剣な自分の意気込みや決意が感じられるものでした。「初心忘るべからず」頼もしい新入生の成長を全教職員で見守っていきたいと思います。

ます。